

PRESS RELEASE

Harry Potter

A HISTORY OF MAGIC

特別展
ハリー・ポッターと
魔法の歴史

薬草、呪文、天文、占い……。
ようこそ魔法魔術学校へ。



兵庫
会場

兵庫県立美術館

2021 9.11 SAT - 11.7 SUN

東京
会場

東京ステーションギャラリー

2021 12.18 SAT - 2022 3.27 SUN

BRITISH
LIBRARY

WIZARDING
WORLD

ジム・ケイ《『ハリー・ポッターと秘密の部屋』の不死鳥の習作》
ブルームズベリー社 訳 © Bloomsbury Publishing Plc

A British Library Exhibition

<https://historyofmagic.jp/>



はじめに

兵庫県立美術館、東京ステーションギャラリーと読売新聞社は、『ハリー・ポッターと賢者の石』の出版20周年を記念して企画された展覧会「ハリー・ポッターと魔法の歴史」を開催します。

現代のファンタジー文学として、20年にわたって世界的人気を誇る「ハリー・ポッター」シリーズ。本展では、原作者J.K.ローリングの直筆原稿やスケッチに加え、大英図書館が所蔵する貴重な書籍や資料などを紹介し、ハリー・ポッターの世界の底流にある言い伝えや魔法の歴史を紐解きます。

ハリーが学んだ hogwarts 魔法魔術学校の科目に沿って、イギリスをはじめ世界各国に古くから伝わる魔法や呪文、占いなど、「魔法薬学」「錬金術」「天文学」などの10章で構成し、科学が発達していなかった時代の人々が信じた魔法や魔術の記録を展示します。

なお、本展は、大英図書館が2017年に企画・開催した展覧会“Harry Potter: A History of Magic”の国際巡回展です。大英図書館の大規模な展覧会が日本に巡回するのは初めてであり、その充実したコレクションの一端をご覧いただける絶好の機会となるでしょう。

主催者

この度、大英図書館として初めて、日本で巡回展を開催することを大変嬉しく思っています。「ハリー・ポッターと魔法の歴史」の展覧会は、ロンドンとニューヨークで来場者から好評を博しました。その魔法のような体験を、兵庫県立美術館、東京ステーションギャラリーおよび読売新聞社とともに実現できるのは嬉しいことです。大英図書館はあらゆる方々に開かれています。この展覧会が、日本の皆様と我々のコレクションを結び付けるエキサイティングな機会となることでしょう。

大英図書館 文化・教育部長
ジェイミー・アンドリュース

開催概要

【兵庫会場】



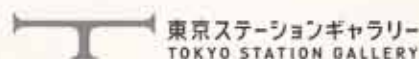
兵庫県立美術館 〒651-0073 兵庫県神戸市中央区臨浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]

会 期：2021年9月11日(土)～11月7日(日)
開館時間：10:00～18:00 ※入場は閉館の30分前まで
休 館 日：月曜日 ※ただし9月20日(月・祝)は開館、翌21日(火)は休館
主 催：兵庫県立美術館、大英図書館、
読売新聞社、読売テレビ
協 力：静山社、日本航空
問合せ先：078-262-1011(兵庫県立美術館)

<https://www.artm.pref.hyogo.jp/>



【東京会場】



東京ステーションギャラリー 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1

会 期：2021年12月18日(土)～2022年3月27日(日)
開館時間：10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場は閉館の30分前まで
休 館 日：月曜日、12月29日(水)～1月1日(土・祝)、1月11日(火)
※ただし1月10日(月・祝)、3月21日(月・祝)は開館

主 催：東京ステーションギャラリー
(公益財団法人東日本鉄道文化財団)、
大英図書館、読売新聞社

協 力：静山社、日本航空
問合せ先：050-5542-8600(ハローダイヤル)

www.ejrcf.or.jp/gallery



■ 報道関係お問合せ先

ハリー・ポッターと魔法の歴史 広報事務局(株式会社OHANA内) 担当：高橋、妹尾、細川
TEL:03-6869-7881 FAX:03-6869-7801 E-mail:historyofmagic@ohanapr.co.jp
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6 リモナ九段ビル5F

■ 兵庫県立美術館の施設についてのお問合せ先

兵庫県立美術館 企画広報担当：細田、東原、宇高
TEL:078-262-0905 FAX:078-262-0903 E-mail:press@artm.pref.hyogo.jp
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区臨浜海岸通1-1-1

※チケット情報など詳細は、展覧会公式サイトにて順次お知らせいたします。

展覧会公式サイト: <https://historyofmagic.jp/>

みどころ

「ハリー・ポッター」の世界がここに!

現代のファンタジー文学として、
20年にわたり世界的な人気を誇る「ハリー・ポッター」シリーズ。
その物語の背景には、イギリスをはじめ世界各国に伝わる魔法や呪文、占いなどが数多く存在します。
本展では原作に基づき、ハリーが通った hogwarts 魔法魔術学校の科目に沿って、
大英図書館の所蔵品を中心に、
古くは4世紀にまで遡る貴重な資料の数々を展示します。

日本で開催される 大英図書館史上初の国際巡回展!

本展は大英図書館が2017年に企画・開催した展覧会
“Harry Potter: A History of Magic”の国際巡回展で、2018年のニューヨークに続き、
ついに日本で開催されます。
大英図書館による大規模な展覧会が日本に巡回するのは初めてのことで、
その充実したコレクションの一端をご覧ください。

日本初公開! J.K.ローリングの直筆原稿

「ハリー・ポッター」シリーズの原作者J.K.ローリングによる、
日本初公開の直筆原稿やスケッチなどの資料も紹介します。

第1章 旅 — The Journey —

1990年6月、マンチェスターからロンドンへ向かう列車で、無名の作家J.K.ローリングにアイデアが舞い降りました。それから5年の間に書き上げられた計7冊の「ハリー・ポッター」シリーズは、その後20年以上にわたり、世界各地で愛される作品となるのです。日本では松岡佑子訳にて1999年に出版。本章ではイギリスでの出版のきっかけとなった8歳の読者の感想文や、イラスト版「ハリー・ポッター」を描いたジム・ケイの原画をご覧ください。



ジム・ケイ『「ハリー・ポッターと賢者の石」の9と3/4番線の習作』★
ブルームズベリー社蔵 ©Bloomsbury Publishing Plc 2015

ジム・ケイによるこの絵は、挿絵入りの「ハリー・ポッターと賢者の石」の表紙に使われた作品の下書きです。新学期を前にホグワーツ特急に乗り込む生徒で混み合うキングズ・クロス駅の9と3/4番線が描かれています。

第2章 魔法薬学 — Potions —

魔術において、薬作りは欠かせない技術であり、化学や医学が発達していなかった時代には特に重要とされ、ホグワーツ魔法魔術学校においても必修科目でした。薬は病気を治すだけでなく、人間の外見を変えたり、恋心を引き起こしたりすることもできると考えられていました。本章では、薬に関わる古今の記録を紹介します。



「ベゾアール石が入った金線細工の容器」

17世紀 サイエンス・ミュージアム蔵
©Science Museum / Science & Society Picture Library -- All rights reserved

ベゾアール石は、アラビアの医師たちによって、中世ヨーロッパに初めて紹介されました。裕福な収集家は、大金を費やして最高の「石」を手に入れ、凝ったつくりの容器に保管しました。「ハリー・ポッターと謎のプリンス」では、ロンが毒入りの蜂蜜酒を飲んでしまった時、ハリーがベゾアール石をロンの喉に押し込み、その命を救いました。



ヤコブ・マイデンバッハ
「健康の庭」★

1491年 大英図書館蔵
©British Library Board

これは中世に印刷された初の博物学辞典で、主に植物、動物、鳥、魚、石について書かれています。木版画による挿絵は、手作業で色付けされています。

第3章 錬金術 — Alchemy —

錬金術とは、卑金属を人工的手段により貴金属に転換する術のこと。「ハリー・ポッター」シリーズ第1作に登場する「賢者の石」は、永遠の命を与える「命の水」を生成することができると信じられ、中世ヨーロッパの錬金術師がその獲得に奮闘しました。本章では、賢者の石の作り方が記された4メートルもある希少な巻物『リブリー・スクロール』や、歴史上、最も美しい錬金術解説書と言われる書籍『太陽の輝き』などを展示します。

ジェームズ・スタンディッシュ 『リブリー・スクロール』(部分)★

16世紀 大英図書館蔵
©British Library Board

錬金術についての論文集である『リブリー・スクロール』は、熟練した錬金術師であるジョージ・リブリーにちなんで名付けられました。錬金術の手順を表す生き物やモチーフで美しく装飾されています。



『太陽の輝き』

1582年 大英図書館蔵
©British Library Board

ドイツで作られた『太陽の輝き』は最も美しい錬金術に関する装飾写本と言われています。



R.アブラハム・エレアツァール 『太古の化学作業』★

1735年 大英図書館蔵 ©British Library Board

蛇と王冠を頂いたドラゴンがお互いの尾をくわえて輪になっている図は、錬金術に関する挿絵によく見られるもので、「materia」(第一資料)と「spiritus universalis」(普遍精神)の統合を象徴しています。この統合は「賢者の石」を作り出すのに不可欠だと考えられていました。

第4章 薬草学 — Herbology —

薬効を持つ植物は、古くから薬の原料として使用され、世界各地の書物に記録が残されてきました。「ハリー・ポッター」シリーズにも、引き抜くと叫び声をあげる「マンドレイク」をはじめ「ヘレボルス」「ハナハッカ」などの薬草が魔法薬の材料として登場しますが、これらはいずれも実在する植物です。



「マンドレイクの根」★

16・17世紀 サイエンス・ミュージアム蔵
©Science Museum / Science & Society
Picture Library — All rights reserved.

ハリーと友人たちは hogwarts 魔法魔術学校の温室で、マンドレイクを初めて目にします。ハーマイオニーは「マンドレイクは呪いで姿かたちを変えられた人を元の姿に戻せるが、マンドレイクの泣き声を聞いた者は命を落とす」ということを知っていました。



「薬草書」★

15世紀 大英図書館蔵 ©British Library Board

中世には、多くの学者が自ら写本を編纂して、個々の植物の性質を記録し、図解しました。この薬草書は、1440年頃、イタリア北部のロンバルディアで作られたもので、裕福な地主のために編纂されたと考えられています。真に迫る植物画がふんだんに描かれ、それぞれの植物の名称について簡潔に説明されています。

第5章 呪文学 — Charms —

「アロホモーラ(開け)」「ウインガーディアム・レヴィオーサ(浮遊せよ)」など、魔法の力を持つ言葉は、「ハリー・ポッター」シリーズに欠かせません。本章では、誰もが知っている呪文「アブラカダブラ」に初めて言及したとされる13世紀の書物など、呪文に関する文献や、魔女に関するアイテムを紹介します。



クイントゥス・セレヌス・サンモニクス

「医学の書」★

13世紀 大英図書館蔵
©British Library Board



J.K.ローリング 《ダイヤゴン横丁の入り口のスケッチ》★

1990年 J.K.ローリング蔵 ©J.K. Rowling

この絵は「ハリー・ポッターと賢者の石」の冒頭で、ハグリッドの傘で3度たたいたときにダイヤゴン横丁のアーチ形の入口がどのように現れるかを、6段階で示しています。レンガがひとりでに並び方を変えてアーチ形の入りができる様子が細部まで描き込まれ、J.K.ローリングが本に登場する魔法をできるだけ現実世界の論理に根付いたものにしていただろうとすることがうかがえます。

第6章 天文学 — Astronomy —

天文学は Hogwarts 魔法魔術学校の必修科目。物語には「ルーナ・ラブグッド」や「シリウス・ブラック」など、月や星に関わる名前が付けられている人物が登場します。古くから人は、星はこの先に起こりうる出来事を示すものと考え、天文学を発達させてきました。ここでは天文学で用いられた天球儀や、レオナルド・ダ・ヴィンチが40年にわたって取り組んできた科学的考察を書き綴った手稿などを展示します。大英図書館が所蔵するレオナルド・ダ・ヴィンチの「天体にまつわるメモとスケッチ」は世界に現存する約30冊のうちの1冊です。



ヨハン・ガブリエル・ドッベルマイヤー
「天球儀」

1728年 大英図書館蔵
©British Library Board

天球儀は、地球から見た空の星の位置を示すものです。この天球儀には豊かなディテールと美しい星座が表面に彫り込まれています。



レオナルド・ダ・ヴィンチ
「天体にまつわるメモとスケッチ」★

1506-1508年頃 大英図書館蔵
©British Library Board

左右が逆になった独特の鏡文字で書かれた手稿には、地球が宇宙の中心であり、太陽と月がその周りを回っている挿絵と、太陽・月・地球の配列に基づく光の反射が示されています。



ムスタファ・アヤブ
「イスラムのアストロラーベ」★

1605-1606年 サイエンス・ミュージアム蔵
©Science Museum / Science & Society Picture Library -- All rights reserved

天文学者はかつて、星の動きを調べるためにさまざまな道具を用いました。精巧で美しいこの真鍮の器具は、アストロラーベと呼ばれ、ハリーたちが天文学の課題で描いた星図のような天宮図を作成するのに役立てました。また緯度を測定することもでき、イスラム世界では聖地の方向を知るために広く使われました。

第7章 占い学 — Divination —

「ハリー・ポッター」シリーズでは、「闇の帝王を倒す力を持つ男の子が7月の終わりに生まれる」という予言が、物語を通じて重要な役割を果たします。本章で展示する資料からは、水晶占い、手相占い、タロットや茶葉占いなど、未来を予知するさまざまな占いが、世界の異なる地域で行われていたことが分かります。

スコットランド高地の予見者 『ティーカップ占い：茶葉で運勢をみる方法』

1920年頃 大英図書館蔵
©British Library Board

「スコットランド高地の予見者」という匿名の著者が、茶葉占いについて書いた手引書。茶葉によってできたさまざまな形の解釈方法だけでなく、最適なカップの大きさや形、使う茶葉の種類も書かれています。茶葉の描く形がカップの把手に近いほど、予言された出来事が早く起こるとされていました。



『古代エジプト占い師最後の遺産』★

1775年 大英図書館蔵
©British Library Board

エジプトの占術を集めたこの冊子は、安価に印刷され、中産階級層向けに販売されました。掌のしわの数や場所も未来の秘密を握っていると書かれています。

※兵衛会場で別のページを展示します。

第8章 闇の魔術に対する防衛術 — Defence Against the Dark Arts —

魔法は多くの文化において、悪の力に対抗するものとして使用されてきました。例えば、 hogwarts魔法魔術学校の授業でもスネイプ先生やルービン先生が生徒たちに紹介した狼人間、河童といった闇の生物から身を守るものとして、魔除けのお守りや呪文などが生まれたのです。本章では、これら忌み嫌われていた生物や、それに対抗する魔除けの方法を記した世界各地の資料を紹介します。



ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス 《魔法円》★

1886年 油彩/カンヴァス テート蔵
©Tate, London 2019

19世紀イギリスを代表する画家、ウォーターハウスは、魔女や魔法をテーマとした作品も多く描きました。歴史を通じて、魔女は醜く邪悪な女性として描かれることが一般的でしたが、ウォーターハウスが描いた魔女はそれとは異なるものでした。魔女は美しい色鮮やかなドレスをまとい、身を守るために自分の周りに杖で円を描いています。背景には荒野が広がり、魔法円の外にはカラスやヒキガエルなどの不吉な動物や頭蓋骨が見えます。



『エチオピアの魔術書』★

1750年 大英図書館蔵
©British Library Board

エチオピアで作られたこの魔術書には、お守り、魔除け、護符、まじないが豊富に収録されています。魔除けの絵では目が重点的に描かれていますが、これは邪視や闇の魔術から身を守ると言われています。

第9章 魔法生物飼育学 — Care of Magical Creatures —

中世の寓話集や近世の博物学の本などには、実在する動物と並んで、ユニコーン(一角獣)やフェニックス(不死鳥)、ドラゴンといった想像上の生物が描かれていました。ライオンの胴体に人間の頭部と鳥の羽を持つスフィンクスのように、種が混ざり合った生物も見られます。ホグワーツ魔法魔術学校においては、第3学年からの選択科目で、魔法動物の飼育に秀でた生徒は、『ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅』の主人公ニュート・スカマンダーのように、魔法動物学者になる者もいました。



ウリッセ・アルドロヴァンディ
『蛇竜誌』

1640年 大英図書館蔵 ©British Library Board

1572年にイタリアのポローニャ近郊で発見されたドラゴンの死体の研究論文。蛇やドラゴン、その他の怪物の気質や生息地が記されています。



マヌエル・フィレス
『動物の性質について』★

16世紀 大英図書館蔵 ©British Library Board

このユニコーンは、16世紀のギリシャの写本に描かれたもので、東ローマ帝国の詩人、マヌエル・フィレスの自然界についての詩が添えられています。この詩によると、ユニコーンはイノシシの尾とライオンの口を持ち、噛まれると危険な動物です。

第10章 過去、現在、未来 — Past, Present, Future —

J.K.ローリングが生み出した「ハリー・ポッター」の魔法世界は、発刊から20年以上経った今も、世界中の読者をひきつけてやみません。ここではさまざまな言語に翻訳された書籍や、大人になったハリーの姿を描いた舞台劇「ハリー・ポッターと呪いの子」の衣装を展示し、今も広がり続ける「ハリー・ポッター」の世界を紹介します。

※内容は変更になる場合があります。

「ハリー・ポッター」シリーズについて

「ハリー・ポッター」は、イギリスの作家J.K.ローリングによって著されたファンタジー小説シリーズです。1997年に、シリーズ第1作『ハリー・ポッターと賢者の石』がロンドンのブルームズベリー社から刊行されると、まったく無名の新人の著作であるにもかかわらず、またたく間に世界的ベストセラーになりました。子供のみならず大人の愛読者も多く、児童文学の枠を越えて世界中で親しまれています。

J.K.ローリングについて

J.K.ローリングは、全7巻が刊行された「ハリー・ポッター」シリーズの作者です。同シリーズはこれまでに5億部以上を売り上げ、85以上の言語に翻訳され、8本のヒット映画になりました。J.K.ローリングはシリーズと並行して、チャリティのために短い副読本を3冊執筆し、その中の『幻の動物とその生息地』は新しい映画シリーズになりました。脚本家ジャック・ゾーンと演出家ジョン・ティファニーとともに、大人になったハリーの姿を描いた舞台劇『ハリー・ポッターと呪いの子』も上演されています。

2020年にはより小さな子供のための童話「イッカボッグ」をロックダウンのさなかの子供たちに向けて無料で配信するために刊行しました。その後、著者印税の全額が新型コロナウイルスの被害を受けた人々のために寄付されました。

J.K.ローリングは、ロバート・ガルブレイスというペンネームで執筆した犯罪小説シリーズも含め、多くの賞を受賞しています。また、慈善信託「ボラント」を通じて多くの慈善活動をしているほか、児童のためのチャリティ団体「ルーモス」の創設者でもあります。

物心ついたときから、J.K.ローリングの夢は作家になることでした。一番の幸せは、部屋の中で物語を作ることです。現在は、家族とともにスコットランドで暮らしています。

大英図書館について

イギリスの国立図書館である大英図書館(British Library)は、世界で最も優れた研究図書館の一つです。その所蔵品は、学術、ビジネス、科学など幅広い分野を包括的に網羅しています。250年以上をかけて収集されてきたコレクションは1億7000万点に上り、いずれも有史以来のさまざまな時代の文明を代表する資料です。書籍だけでなく、地図や写真、音声データに至るまで、記録媒体の形態を問わずコレクションとして収集・保存されています。



本件についてのお問合せ先

ハリー・ポッターと魔法の歴史 広報事務局(株式会社OHANA内) 担当: 高橋、妹尾、細川

TEL:03-6869-7881 FAX:03-6869-7801 E-mail:historyofmagic@ohanapr.co.jp

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6 リモネ九段ビル5F

プレス専用 広報用ダウンロードシステムのご案内

本展では、オンラインでご利用いただける、広報用ダウンロードシステムをご用意しております。
下記にアクセスしていただき、広報用資料（プレスリリース、広報用画像一式など）をお申込みください。
※本リリース掲載画像のうち、★印が広報用画像です。

プレス専用 広報用ダウンロードシステム（初回のみ新規ご登録が必要です）

兵庫会場 https://www.artpr.jp/prs/historyofmagic_hyogo

東京会場 https://www.artpr.jp/prs/historyofmagic_tokyo

メールでのご案内を受信されている方は、
メール内にもリンクの記載がございますので、そちらをクリックしてご登録ください。

QRコード

QRコードからの読み取りはこちら

右のQRコードを読み取って、
ページにアクセスしてください。

兵庫会場



東京会場



画像使用に際しての注意

- 本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせて頂きます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
- ご使用の際は、展覧会名、会期、会場名、所定の作品データ（作家名、作品名、制作年、所蔵先、画像クレジットなど）を必ずご掲載ください。
- 画像はすべて全図で使用してください。トリミング、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- WEB媒体に掲載する場合は、画像を72dpi以内に設定のうえコピーガードを施し、本展終了後は画像の削除をお願いいたします。
- 本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。
- 展覧会基本情報と作品画像使用の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。
- 掲載紙誌・同録DVD等は広報事務局に1部ご惠贈願います。WEB媒体の場合は掲載URLをお知らせください。

報道関係お問合せ先

ハリー・ポッターと魔法の歴史 広報事務局(株式会社OHANA内) 担当：高橋、妹尾、細川

TEL:03-6869-7881 FAX:03-6869-7801 E-mail:historyofmagic@ohanapr.co.jp

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-6 りそな九段ビル5F